

地域×デジタル 生成AI時代の新しい働き方セミナー in 東海

地域課題の解決や地域の活性化において、いまやデジタル活用は必要不可欠となっています。本セミナーでは、地域の現場における生成AIを含むデジタル活用の様々な事例を示すとともに、これからの時代の“新しい働き方”による就業機会の創出や地域活性化の端緒を示します。

日時

2025年12月18日（木）13:30～15:30

プログラム

講演①



人口減少下における地域の生き残り戦略 ～デジタルを活用した持続可能な社会へ～
一般社団法人Public Meets Innovation 理事 田中 佑典 氏

なぜ持続可能な地域社会をつくるうえでデジタルの活用が必要不可欠なのか。官民双方においてデジタルの活用による地域課題解決に取り組んだ経験をもとに、デジタル活用の重要性や、その導入過程で直面する課題、そしてテクノロジーを人や地域の力に変えていくための実践的な視点について考察します。

【プロフィール】京都大学卒業後、総務省入省。長野県、外務省等を経て、総務省にてシェアリングエコノミーの普及促進や持続可能な地域社会を実現するための企画・立案に従事。2021年より群馬県に出向し、DX戦略課長としてデジタル活用による地域課題の解決に取り組む。2023年、DX化に向けた組織づくりの功績が認められ日本DX大賞を受賞。本業と併行し、官民の協働を促進する一般社団法人Public Meets Innovationを運営。

講演②



**生成AIが変える地域産業と働き方
— 人材不足時代を乗り越えるデジタル活用の最前線**
株式会社TENHO 最高AI責任者(CAIO) 児玉 知也 氏

生成AIは、単なる業務効率化ツールにとどまらず、地域企業の生産性と人材活用のあり方を根本から変えつつあります。本講演では、製造業を中心に全国で進むAI導入の最新事例を紹介しながら、人手不足の現場で「AIと人が共に働く」ための実践ポイントを解説します。現場主導で始められる小さなデジタル化のヒントをお届けします。

【プロフィール】立教大学経済学部在学中に起業し、教育・テクノロジー領域で事業を立ち上げ。2023年には株式会社TENHOを共同創業し、取締役COOとして生成AIの導入支援事業を推進。主に企業・自治体に対する研修講師およびノーコード／ローコード開発を活用した業務効率化支援に従事。

講演③



学びが仕事になるまちへ — 地方発・テレワーク×DX人材育成の実践
特定非営利活動法人ウィズワーク・ラボ 理事長 角 香里 氏

地方企業には、DX課題と人材育成を同時に解決することが求められています。働く意欲はあるものの時間や場所に制約がある人たちが、デジタルスキルを学び、実際の企業案件に取り組むまでの支援内容や、企業のDX課題に応じた提案事例等をご紹介します。

【プロフィール】経営コンサルタント会社を結婚退職。出産と同時に義父の介護が始まり、2014年「ICTママ」として在宅ワークのワークシェアに参加。2016年から徳島県や市よりテレワーク推進事業を受託し、企業・個人に柔軟な働き方の導入を支援。

お申込み・お問い合わせ

● 申込フォーム

<https://forms.office.com/e/i2MKt1AzEm>

<12/16(火) 17時 締切>



● お問い合わせ先

総務省テレワーク・ワンストップ・サポート事業 事務局
(有限責任監査法人トーマツ)

電話: 070-1378-7625

Mail: tw_support_jimukyoku@tohmatu.co.jp